

(Windows 10 Version)

Excel-2019-Level 06

- 上級編 2 -



体系学習★初歩からのPCテキスト

第01章: べき乗(べきじょう).....	5
01章01節... 累乗.....	5
01章02節... 累乗根.....	6
01章03節... まとめ.....	6
01章04節... 練習問題.....	7
第02章: 入力規則.....	9
02章01節... 単純な日付の入力規則.....	9
02章02節... 数値の入力規則.....	11
02章03節... 他のセルを参照する入力規則.....	12
02章04節... 入力時メッセージ.....	13
02章05節... リスト型入力規則.....	14
02章06節... セル群を使ったリスト型入力規則.....	15
02章07節... 他のセルのみを判断対象とする入力規則.....	16
02章08節... 入力規則の強さを変える.....	17
02章09節... 無効データのマーク.....	19
02章10節... 日本語入力システムのコントロール.....	19
02章11節... シートの保護.....	22
02章12節... シート保護の例外セルを作成する・[ロック]をオフに.....	24
02章13節... まとめ.....	25
02章14節... 練習問題.....	25
02章15節... 練習問題.....	27
第03章: 複雑な条件付き書式とユーザー定義の表示形式.....	29
03章01節... 復習: 基本的な条件付き書式.....	29
03章02節... 条件判断の根拠となるセルと書式設定をするセルが異なる[数式を使用して]..	30
03章03節... 正の場合と負の場合の表示形式を分ける.....	33
03章04節... ゼロの場合の表示形式.....	34
03章05節... 表示形式と文字色の設定.....	35
03章06節... 表示形式: 数値の場合と文字列の場合を分けて設定する.....	35
03章07節... 数値を1,000単位にして表示する【#,##0,】.....	36
03章08節... 「会計」表示形式.....	38
03章09節... まとめ.....	41
03章10節... 練習問題.....	42
第04章: ゴールシークとシナリオの登録.....	46
04章01節... 準備と手動試算・試行錯誤.....	46
04章02節... ゴールシークの使用.....	47
04章03節... シナリオの登録・複数の値をセルに登録しておく.....	48
04章04節... まとめ.....	52
04章05節... 練習問題.....	52
第05章: 情報関数とグラフ.....	54
05章01節... 準備と条件付き書式.....	54
05章02節... グラフ・ヒストグラム(度数分布図).....	58
05章03節... 親子関係の割合を円グラフで・サンバースト.....	61
05章04節... 条件に対応した値を返すIFS関数.....	64

05章05節… SWITCH 関数.....	67
05章06節… 順位を算出する RANK.EQ 関数.....	69
05章07節… RANK.EQ 関数とは(概要).....	72
05章08節… 値の位置を調べる MATCH 関数.....	72
05章09節… MATCH 関数とは(概要).....	75
05章10節… 範囲内の指定位置にあるセルの値を表示させる INDEX 関数.....	75
05章11節… INDEX 関数とは(概要).....	78
05章12節… ピボットグラフ.....	78
05章13節… まとめ.....	81
05章14節… 練習問題.....	82
05章15節… 練習問題.....	86
第06章: 集計関数の応用.....	89
06章01節… 復習・COUNTIF 関数.....	89
06章02節… 条件を複数指定して集計する COUNTIFS 関数.....	90
06章03節… 練習・COUNTIFS 関数/以上と以下.....	93
06章04節… 復習・AVERAGEIF・SUMIF 関数/ワイルドカードの利用.....	95
06章05節… AVERAGEIFS や SUMIFS 関数.....	97
06章06節… 参照範囲を変更しない計算式のコピー.....	99
06章07節… 基準値の倍数へ切り下げ・FLOOR.MATH.....	100
06章08節… 基準値の倍数へ切り上げ・CEILING.MATH.....	102
06章09節… まとめ.....	105
06章10節… 練習問題.....	105
第07章: 曜日の処理.....	110
07章01節… 曜日情報を表示させる【WEEKDAY】関数.....	110
07章02節… VLOOKUP 関数で曜日番号から曜日名を割り出す.....	113
07章03節… 表示形式適用後の値を取得する・【TEXT】関数.....	114
07章04節… TEXT 関数とは(概要).....	116
07章05節… [○営業日後]・WORKDAY 関数(休日を除いた日付の足し算).....	116
07章06節… WORKDAY.INTL 関数・土日以外を休日とする日付の足し算.....	118
07章07節… NETWORKDAYS 関数・休日を除いた日数を調べる.....	119
07章08節… まとめ.....	122
07章09節… 練習問題.....	122
第08章: マクロ1.....	128
08章01節… マクロとは?.....	128
08章02節… マクロの登録と実行.....	129
08章03節… 登録したマクロの削除.....	131
08章04節… 選択済みの範囲に対して処理をするマクロ.....	132
08章05節… マクロ付きファイルの保存.....	134
08章06節… クイックアクセスツールバーにマクロを割り当てる.....	136
08章07節… フォームコントロール・マクロボタン.....	138
08章08節… スピンボタンの作成(フォームコントロール).....	141
08章09節… まとめ.....	143
08章10節… 練習問題.....	144

第 09 章: マクロ 2.....	147
09 章 01 節... 絶対参照マクロの復習.....	147
09 章 02 節... 選択済み範囲に実行するマクロの復習.....	148
09 章 03 節... 相対参照マクロ.....	150
09 章 04 節... ショートカットキーの割り当て.....	152
09 章 05 節... Visual Basic Editor でマクロを修正.....	154
09 章 06 節... Visual Basic Editor でマクロを複製.....	156
09 章 07 節... Visual Basic Editor から RGB 関数を使って色の調整.....	159
09 章 08 節... まとめ.....	160
09 章 09 節... 練習問題.....	161

...  →操作の説明

...  →補足説明

- 記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。
- 本書の例題や画面などに登場する企業名や製品名、人名、キャラクター、その他のデータは架空のものです。現実の個人名や企業、製品、イベントを表すものではありません。
- 本文中には™,®マークは明記しておりません。
- 本書は著作権法上の保護を受けております。
- 本書の一部あるいは、全部について、合資会社アルファから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、複製することを禁じます。ただし合資会社アルファから文書による許諾を得た期間は除きます。
- 無断複製、転載は損害賠償、著作権法の罰則の対象になることがあります。
- この教材は Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
 - ◆ Version No:excel-2019-06-上級 2-210903
 - ◆ 著作・製作 合資会社アルファ
〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 118-2 中山 NS ビル 6F
 - ◆ 発行人 三橋信彦
 - ◆ 定価 一円

第01章:べき乗(べきじょう)

01章01節…累乗

(01) 以下のような表を作成しましょう。

	A	B	C	D
1				
2		一辺の長さA	11	
3		正方形面積A		
4		立方体体積A		
5				
6		正方形面積B	80	
7		一辺の長さB		
8				
9		立方体体積C	500	
10		一辺の長さC		
11				

(02) セル C3 には「セル C2 の 2 乗(2 回掛ける)」の計算式を作成します。

エクセルでは「2 乗= 2 」「3 乗= 3 」のように半角の「ハットマーク: $^$ 」を使って乗数を指定します。「C2 を 2 回掛ける \rightarrow (C2 2)」は「C2 2 」です。

セル C3 に「=C2 2 」の計算式を作成しましょう。

The screenshot shows the Excel interface with the formula bar at the top displaying '=C2^2'. The spreadsheet grid below shows the same data as in the previous table, with cell C3 highlighted in blue. A blue callout box points to the formula bar with the text: 「 $^$ 」は「ハットマーク」と読む。必ず半角で入力すること。

「 $^$ 」は「ハットマーク」と読む。
必ず半角で入力すること。

セル C3 に「=C2 2 」の計算式を作成

(03) 「11 \times 11」ということで、セル C3 の計算結果は「121」となりました。

続けてセル C4 には C2 の 3 乗の計算結果を作成しましょう。「=C2 3 」を作成します。

The screenshot shows the Excel interface with the formula bar at the top displaying '=C2^3'. The spreadsheet grid below shows the same data as in the previous table, with cell C4 highlighted in blue. A blue callout box points to the formula bar with the text: セル C4 に「=C2 3 」を作成

セル C4 に「=C2 3 」を作成

(04) 「11 \times 11 \times 11」ということで、セル C4 の計算結果は「1331」となりました。

The screenshot shows the final Excel spreadsheet. Cell C3 now contains the value '121' and cell C4 contains the value '1331'. The formula bar at the top still shows '=C2^3'.

01章02節…累乗根

(01) 次は逆方向の計算をします。「何を2回掛ければC6(80)の数値になるのか」をセルC7にて調査します。「?²=80」において「?」はいくつなのかを調べるのです。ここではセルC7に「=C6^(1/2)」を指定します。

数値セルのあとでハットマークに続けて(1/n)を指定すれば、「どの数値を『n乗』すれば元の数値セルの値になるのか(n乗根)」が計算されるのです。

	A	B	C	D	E
1					
2		一辺の長さA	11		
3		正方形面積A	121		
4		立方体体積A	1331		
5					
6		正方形面積B	80		
7		一辺の長さB	=C6^(1/2)		
8					
9		立方体体積C	500		
10		一辺の長さC			

「?²=80」「?ⁿ=目標値」において「?」を求めるならば
「=80^(1/2)」「=目標値^(1/n)」という式を作成する

セルC7に「=C6^(1/2)」を作成

(02) 「約8.944」を2乗することで「80」を得られることがわかりました。

	A	B	C	D	E
1					
2		一辺の長さA	11		
3		正方形面積A	121		
4		立方体体積A	1331		
5					
6		正方形面積B	80		
7		一辺の長さB	8.944272		
8					
9		立方体体積C	500		
10		一辺の長さC			

(03) 続けてセルC10にて、「3乗することでセルC9の値になる数値」を調査します。
セルC10に「=C9^(1/3)」を作成しましょう。

	A	B	C	D	E
1					
2		一辺の長さA	11		
3		正方形面積A	121		
4		立方体体積A	1331		
5					
6		正方形面積B	80		
7		一辺の長さB	8.944272		
8					
9		立方体体積C	500		
10		一辺の長さC	=C9^(1/3)		

セルC10に「=C9^(1/3)」を作成

(04) 「約7.937」を3乗することで「500」を得られることがわかりました。

それではこの章の学習を終了します。完成後はこのファイルを閉じます(必要に応じて保存)。

	A	B	C	D	E
1					
2		一辺の長さA	11		
3		正方形面積A	121		
4		立方体体積A	1331		
5					
6		正方形面積B	80		
7		一辺の長さB	8.944272		
8					
9		立方体体積C	500		
10		一辺の長さC	7.937005		

01章03節…まとめ

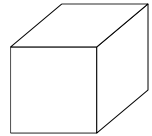
- ◆ 「セルのn乗」を指定するには「セル^n」の形式で指定します。「^」は「ハットマーク」と読みます。
- ◆ 「セルのn乗根」を指定するには「セル^(1/n)」の形式で指定します。

01章04節…練習問題

(01) 立方体の体積を求めましょう。辺の長さを3乗します。「立方体」とは6枚の正方形で囲んだ箱のことです。体積「1cm³」は縦・横・高さすべてが1cmである立方体1つ分の大きさです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1									
2			立方体1	立方体2	立方体3	立方体4	立方体5		
3	辺の長さ		27	9	21	4	17		
4	体積		19,683	729	9,261	64	4,913		
5									

辺の単位は cm、
体積の単位は cm³
として考えよう



(02) 3行目に記載されている体積の立方体を作成するには、辺の長さをいくつにすればよいのでしょうか？

	A	B	C	D	E	F	G	H	
1									
2			立方体1	立方体2	立方体3	立方体4	立方体5		
3	体積		500	1,500	125	1,000	2,500		
4	辺の長さ		7.94	11.45	5.00	10.00	13.57		
5									

(03) 会社の売上が毎年 1.6 倍ずつ成長をすると 5 年後には何倍になっているのでしょうか？ 試算表を作成してください。セル C2 と C4 には表示形式「0.00"倍"」が適用されています。セル C3 には「0"年後"」が適用されています。作成後は、1.8 倍ずつ成長をすると 6 年後には何倍になっているか、を算出できるかチェックしましょう。

	A	B	C	D
1				
2	年間成長率		1.60倍	
3			5年後	
4	経過年数後の成長率		10.49倍	
5				

⇒

	A	B	C	D
1				
2	年間成長率		1.80倍	
3			6年後	
4	経過年数後の成長率		34.01倍	
5				

(04) 毎年何倍ずつ成長をすれば 3 年後に 5 倍になるのでしょうか？ 試算表を作成してください(○×○×○=5 ⇒ ○³=5 …… 「○」は何かを求める)。作成後は、15 年後に 40 倍となっているために必要な年間成長率を算出できるかチェックしましょう。

	A	B	C	D
1				
2		3年後	5倍	
3				
4	必要な年間成長率		1.71倍	
5				

⇒

	A	B	C	D
1				
2		15年後	40倍	
3				
4	必要な年間成長率		1.28倍	
5				

(05) 現在の状況を 1 倍とするならば、年間 1.25 倍ずつ増えると仮定すると○年後は何倍になっているかを算出する表を作成してください(絶対参照に注意)。
※現在は「0 年後」の扱いとなる

	A	B	C	D
1				
2	年間成長率		1.25倍	
3				
4		1年後	1.25倍	
5		2年後	1.56倍	
6		3年後	1.95倍	
7		5年後	3.05倍	
8		10年後	9.31倍	
9		15年後	28.42倍	
10		20年後	86.74倍	
11				

(06) 試験管の中で、ある菌を 24 日間培養します。

この菌は 1 日で 1.12 倍(12%増・前日比 112%)になります。現在は試験管の中に 6000 個の菌がいます。経過日数と菌の数との関係を表にしましょう(絶対参照に注意)。

※例えば 4 日後の菌の数は「 6000×1.12^4 」で計算できます。

	A	B	C	D	E
1					
2			初期菌数	6,000	
3			増加率	1.12	
4					
5		経過日数	1	6,720	
6			2	7,526	
7			3	8,430	
8			4	9,441	
9			5	10,574	
10			6	11,843	
11			8	14,856	
12			10	18,635	
13			12	23,376	
14			15	32,841	
15			20	57,878	
16			25	102,000	
17			30	179,760	
18			40	558,306	
19			50	1,734,013	
20					

(07) 外貨預金の受取予定額を計算します。預金額に応じて 1 年ごとに[年利]分が加算されます。

預金額・年利に応じた、預入後の受取額を計算する左のような表を作成しましょう。

「複利計算」をしています。受取済みの利子に対しても利子が付くのです。終わったら右のように「預金年数」を「12」年に、年利を「12.5%」に修正してみましょう。

(年間増加率 150%とは、翌年には預金額が前年の 1.50 倍になっているという意味…元金 100%に年利 50%を加えている)

(表示形式記号の「\$」は分類[通貨]にある)

	A	B	C	D
1				
2		預金額	\$30,000	
3		年利	50.00%	
4		年間増加率	150.00%	
5		預金年数	3	
6		預入直後からの増加率	337.50%	
7		受取額	\$101,250	
8				



	A	B	C	D
1				
2		預金額	\$30,000	
3		年利	12.50%	
4		年間増加率	112.50%	
5		預金年数	12	
6		預入直後からの増加率	410.99%	
7		受取額	\$123,297	
8				

第02章:入力規則

02章01節…単純な日付の入力規則

(01) 以下のような表を作成しましょう。[値引後単価][小計]欄は計算式で作成してあります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6					¥0		¥0					柴山	
7					¥0		¥0						
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						

(02) B列には、「2019年の4月～5月の日付」のみ入力できるように設定します。それ以外は入力できないよう制御したいのです。特定のデータしか入力できないよう制御する機能が「入力規則」です。B3:B10を選択し、【データ】タブから[データの入力規則]▼[データの入力規則]をクリックしてください。

2. 【データ】タブに

3. [データの入力規則]▼[データの入力規則]をクリック

1. B3:B10を選択

(03) 入力可能な値の範囲を【設定】タブで指定します。[入力値の種類]を「日付」、[データ]を「次の値の間」とします。あとは「2019/4/1～2019/5/31」を指定しOKします。

1. [入力値の種類]を「日付」に

2. [データ]を「次の値の間」に

3. 「2019/4/1～2019/5/31」を指定

(04) B6で「2019/4/11」の入力を試してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		19/4/11										柴山	
7													
8													
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11													

B6に「2019/4/11」を入力

(05) 問題なく入力が完了しました。

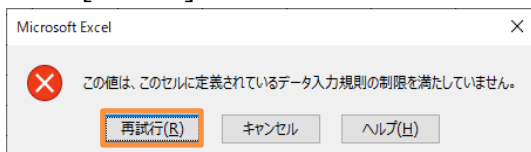
続けてB7で「2019/7/15」の入力を試してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11										柴山	
7		19/7/15											
8													
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11													

B7に「2019/7/15」を入力

(06) 入力規則に違反しているため、以下のようなメッセージが表示されます。

[再試行]すると、入力の訂正ができます。



(07) 今度は、入力規則に適合している値を入力します。「2019/5/2」を入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11										柴山	
7		19/5/2											
8													
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11													

B7で「2019/5/2」を入力

(08) 問題なく入力が完了しました。このようにセルに[入力規則]を設定すると、規則に違反する値の入力ができなくなるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11											
7		2019/5/2											
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11													

規則違反である入力は
許可されない

02章02節…数値の入力規則

(01) C列の[基本単価]においては、0以上の数値・整数しか入力できないようにします。マイナスの値や小数値を入力不可とするのです。選択して、[データの入力規則]をクリックしてください。([データの入力規則]▼[データの入力規則]と同じ)

1. C3:C10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
4		2019/4/3	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
6		2019/4/11			¥0		¥0				柴山
7		2019/5/2			¥0		¥0				
8					¥0		¥0				
9					¥0		¥0				
10					¥0		¥0				
11					¥0		¥0				

(02) [入力値の種類]を「整数」に、[データ]を「次の値以上」とします。
[最小値]は「0」としてOKします。

1. [入力値の種類]を「整数」に

2. [データ]を「次の値以上」に

3. [最小値]を「0」に

データの入力規則

設定 入力時メッセージ エラーメッセージ 日本語入力

条件の設定

入力値の種類(A): 整数 空白を無視する(B)

データ(D): 次の値以上

最小値(M): 0

同じ入力規則が設定されたすべてのセルに変更を適用する(P)

すべてクリア(C) OK キャンセル

(03) C6に「-500」と入力しましょう。

C6に「-500」と入力

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧		
3		2019/4/2	¥1,050	¥150						長谷川	藤井		
4		2019/4/5	¥840	¥0						柴山	長谷川		
5		2019/4/11	¥1,260	¥120						藤井	中根		
6		2019/4/11	-500		¥0		¥0				柴山		
7		2019/5/2			¥0		¥0						
8					¥0		¥0						

(04) 入力不可のメッセージが表示されます。[再試行]しましょう。

Microsoft Excel

この値は、このセルに定義されているデータ入力規則の制限を満たしていません。

再試行(R) キャンセル ヘルプ(H)

入力をしない際は[キャンセル]を使う

(05) 次の操作に進む前に、C6に「1350」、C7に「670」を入力してください。

C6に「1350」、C7に「670」を入力

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧		
3		2019/4/2	¥1,050	¥150						長谷川	藤井		
4		2019/4/5	¥840	¥0						柴山	長谷川		
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根		
6		2019/4/11	¥1,350		¥1,350		¥0				柴山		
7		2019/5/2	¥670		¥670		¥0						
8					¥0		¥0						

02章03節…他のセルを参照する入力規則

(01) D 列の[値引額]に入力規則を設定します。その際、左にある[基本単価]を超えない値のみ入力可能とします。C 列の[基本単価]を超える値が入力できないようにするのです。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

1. D3:D10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
6		2019/4/11	¥1,350		¥1,350		¥0				柴山
7		2019/5/2	¥670		¥670		¥0				
8					¥0		¥0				
9					¥0		¥0				
10					¥0		¥0				
11					¥0		¥0				

(02) [入力値の種類]は「整数」、[データ]は「次の値以下」にします。[最大値]では、左隣のC列のセル・[基本単価]のセルを指定します。ただし先頭だけでよいのでC3を指定します。これで各セルの左のセルが比較対象となるのです。設定後はOKします。

1. [入力値の種類]は「整数」に

2. [データ]は「次の値以下」に

3. [最大値]は「C3」に

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
6		2019/4/11	¥1,350		¥1,350		¥0				柴山
7		2019/5/2	¥670		¥670		¥0				
8					¥0		¥0				
9					¥0		¥0				
10					¥0		¥0				
11					¥0		¥0				

(03) D6にC6の「1350」より大きい数値、「2000」を入力してみましょう。

D6に「2000」を入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者	担当者一覧
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川	藤井
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山	長谷川
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井	中根
6		2019/4/11	¥1,350	2000	¥1,350		¥0				柴山
7		2019/5/2	¥670		¥670		¥0				
8					¥0		¥0				
9					¥0		¥0				
10					¥0		¥0				
11					¥0		¥0				

(04) 値引額が基本単価より大きくなる場合には入力が許可されません。[再試行]しましょう。

Microsoft Excel

この値は、このセルに定義されているデータ入力規則の制限を満たしていません。

再試行(R) キャンセル ヘルプ(H)

(05) 「200」と入力しなおしてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価							担当者	担当者一覧
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900							藤井	藤井
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未			長谷川	長谷川
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済			藤井	中根
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0						柴山
7		2019/5/2	¥670		¥670		¥0						
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						

02章04節…入力時メッセージ

(01) D列をアクティブにした際に、メッセージが表示されるようにします。

入力規則の[入力時メッセージ]が利用できます。

1. D3:D10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

(02) 【入力時メッセージ】タブの[タイトル]に「値引額に注意」と指定します。

[メッセージ]に「基本単価以下の整数を入力してください。」と指定し OK します。

1. 【入力時メッセージ】タブの[タイトル]へ「値引額に注意」と入力

2. [メッセージ]に「基本単価以下の整数を入力してください。」と入力

(03) D7に「50」と入力しましょう。アクティブにした際に入力時メッセージが表示されます。

[タイトル]は太字で表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	藤井
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	長谷川
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	中根
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	柴山
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						
12					¥0		¥0						

02章05節…リスト型入力規則

(01) I列の[引渡]欄には「済」か「未」しか入力できないよう設定します。
 選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

2. [データの入力規則]をクリック

1. I3:I10 を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8													
9													
10													
11													

(02) 【設定】タブにて[入力値の種類]を「リスト」にすると、使用できる文字を限定することができます。選択肢としたい文字を[元の値]欄に指定します。値は半角カンマ(,)で区切って指定します。「済,未」を指定してOKします。

1. 【設定】タブで[入力値の種類]を「リスト」に

2. [元の値]に「済,未」を指定

(03) セル I6 に「未」を入力してみます。アクティブにすると、下向き三角が表示されます。
 クリックすると、指定した選択肢が表示されます。「未」を選びましょう。

セル I6 から「未」を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8													
9													
10													
11													

(04) I7 は「済」にします。

セル I7 は「済」に

アクティブにした状態で
 {Alt}+{↓}キーを使うと選
 択肢が開く

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0					柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0						
8													
9													
10													
11													

02章06節…セル群を使ったリスト型入力規則

(01) J列には「藤井」「長谷川」「中根」「柴山」のみ入力できるように規則を設定します。

入力の選択肢としたい値が、L列のようにセルへ書き出されていれば、それを利用することもできるのです。

規則を設定したいJ列を選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

2. [データの入力規則]をクリック

1. J3:J10 を選択

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未			柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済				
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11													

(02) [入力値の種類]は「リスト」にします。[元の値]にはL3:L6をドラッグで指定します。

指定後はOKしましょう。

1. [入力値の種類]は「リスト」に

2. [元の値]にL3:L6を指定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価									担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050							長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840							柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260							藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350									柴山	
7		2019/5/2	¥670										
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													

(03) J6に「中根」、J7に「長谷川」を選択肢から指定しましょう。

J6に「中根」、J7に「長谷川」を指定

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未			柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済	藤井			
8					¥0		¥0			長谷川			
9										中根			
10										柴山			
11													

02章07節…他のセルのみを判断対象とする入力規則

(01) この表では[購入数量]欄へ入力すると、計算により[小計]欄に反映されます。

今から[購入数量]欄に、[小計]が「10万円」を超えるような数値が入力できないよう設定してみます。選択して、[データの入力規則]をクリックしてください。

1. F3:F10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡				
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済	長谷川			
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						
11					¥0		¥0						

(02) 入力規則を設定する個所は F 列ですが判断の根拠となる個所は G 列です。このように入力規則を設定する個所と判断対象の個所が異なる場合には[入力値の種類]を「ユーザー設定」とし、[数式]欄に論理式を指定します。「G 列の値が 10 万円以下」と指定しますが使うのは先頭の G3 だけです。「=G3<=100000」と指定・OK します。

1. [入力値の種類]を「ユーザー設定」に

2. [数式]は「=G3<=100000」に

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150		¥0	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0	
8					¥0		¥0	
9					¥0		¥0	
10					¥0		¥0	

(03) セル F6 に「300」と入力してみましょう。小計が 10 万円を超えそうですが…。

F6に「300」と入力

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計						
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	300	¥0		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済	長谷川			
8					¥0		¥0						
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						

(04) F6 を使って計算している G6 が 10 万円を超えてしまうため入力を許可されませんでした。[キャンセル]してください。

Microsoft Excel

この値は、このセルに定義されているデータ入力規則の制限を満たしていません。

再試行(R) キャンセル ヘルプ(H)

02章08節…入力規則の強さを変える

(01) F 列には、G 列の値が 10 万円を超えてしまうような値の入力することは許可されていません。しかし入力規則の[エラーメッセージ スタイル]を変更することで、メッセージは注意のために表示されますが、10万円を超えてしまう値を入力可能にさせることができます。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

1. F3:F10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

入力規則の効力を弱める予定

(02) 【エラーメッセージ】タブの[スタイル]を「停止」から「注意」にします。すると規則外の入力をした際にメッセージは表示されるものの、そのまま確定させることができるようになるのです。また[タイトル][エラーメッセージ]欄で、規則外入力時のメッセージを指定することができます。以下のように設定してOK しましょう。

1. 【エラーメッセージ】タブに

2. [スタイル]を「注意」に

3. [タイトル]を「確認してください」に

4. [エラーメッセージ]を「10万円以上の場合は先払いになります。」に

(03) セル F6 に「100」と入力してみましょう。

F6に「100」と入力

(04) スタイルを「停止」から「注意」にした結果、[はい][いいえ][キャンセル]の選択肢が表示されます。[いいえ]だと再入力を促されますが、[はい]だと規則に違反していても確定されます。押してみましょう。

[タイトル][エラーメッセージ]で指定した文字はここで表示される

(05) [注意]の場合は、規則に違反した値も入力できるのです。ただしその場合は、前の図のように注意メッセージが表示されます(列の幅は適時調整)。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
	2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
	2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
	2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
	2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
	2019/5/2	¥670	¥50	¥620		¥0		済				
				¥0		¥0						
				¥0		¥0						
				¥0		¥0						

列の幅は適時調整

(06) スタイルには「停止」「注意」の他に「情報」もあります。設定してみます。

2. [データの入力規則]をクリック

1. F3:F10 を選択

入力規則の効力をさらに弱める予定

(07) [スタイル]を「情報」にしてOKしましょう。

データの入力規則

設定 入力時メッセージ エラーメッセージ 日本語入力

無効なデータが入力されたらエラーメッセージを表示する

無効なデータが入力されたときに表示する

スタイル(S): **情報**

タイトル(T): 確認してください

エラーメッセージ(E): 10万円以上の場合は先払いになります。

すべてクリア(C) OK キャンセル

[スタイル]を「情報」に

(08) F7へ入力規則に違反する値を入力してみましょう。「300」と入力します。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
	2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
	2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
	2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
	2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
	2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥0		済	長谷川			
				¥0		¥0						
				¥0		¥0						
				¥0		¥0						

F7に「300」を入力

(09) 「情報」を選択した場合は、規則違反時に[OK]と[キャンセル]が選択できます。[OK]を使うと、違反のまま入力が確定されます。OKしましょう。

確認してください

10万円以上の場合は先払いになります。

OK キャンセル ヘルプ(H)

(10) 「情報」の場合も、「注意」と同様、違反値を入力することができるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済	長谷川			

02章09節…無効データのマーク

(01) F 列には入力規則に違反しているセルがいくつか存在します。[無効データのマーク]を使うと規則違反のセルにマークが付きます。[データの入力規則]▼から実行します。

[データの入力規則]▼から[無効データのマーク]をクリック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済	長谷川			

(02) 入力規則に違反しているセルにマークが付きました。

次の操作に入る前に[入力規則マークのクリア]で消去しましょう。

[データの入力規則]から[入力規則マークのクリア]をクリック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済	長谷川			

02章10節…日本語入力システムのコントロール

(01) セルをアクティブにした際に自動的に入力モードを切り替えさせる設定をしておくことができます。B 列では自動的に「半角英数」モードになるよう設定します。

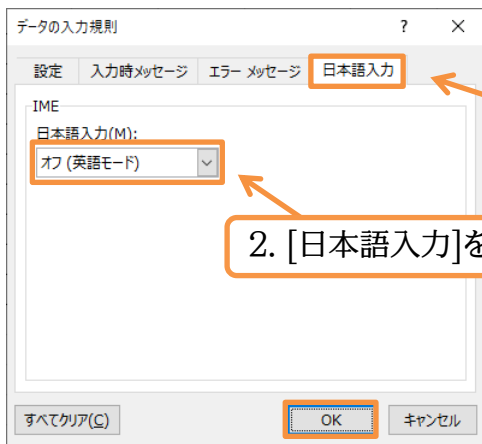
入力規則の「日本語入力」を使用します。選択して[データの入力規則]を使います。

1. B3:B10 を選択

2. [データの入力規則]をクリック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済	長谷川			
8							¥0						
9							¥0						
10							¥0						
11													

(02) 【日本語入力】タブで[日本語入力]を「オフ」にします。すると、この範囲をアクティブにした際は自動的に入力モードが「半角英数」になるのです。設定後は OK します。



1. 【日本語入力】タブに

2. [日本語入力]を「オフ」に

(03) B 列をアクティブにすると自動的に入力モードが「半角英数」になります(「ひらがな」などに変更することは可能)。それでは B8 に「2019/5/9」を入れてみましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧						
	2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井						
	2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川						
	2019/4/11	¥1,260							井		中根						
	2019/4/11	¥1,350							根		柴山						
	2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済	長谷川								
	19/5/9																

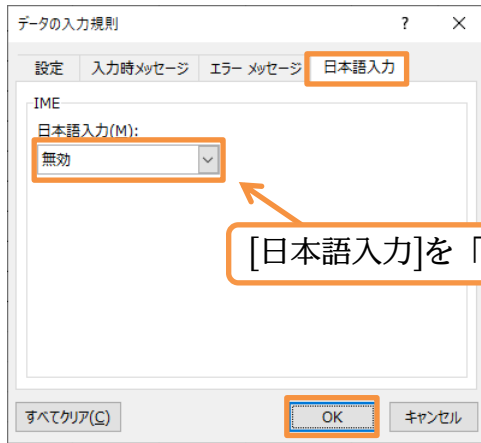
B 列を選択中は、自動的に入力モードが「半角英数」になる

(04) 特定のセルをアクティブにした際は、入力モードの変更ができないよう設定することもできます。半角英数記号しか入力できないように設定できるのです。F 列の[購入数量]欄に設定します。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

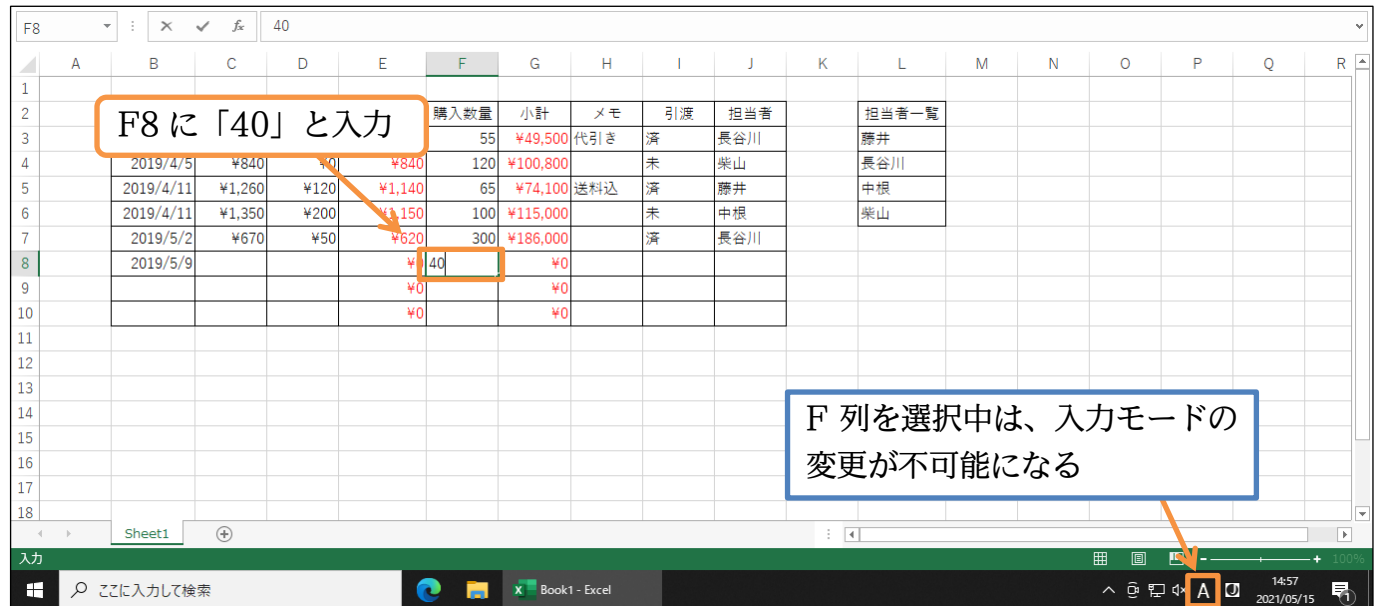
2. [データの入力規則]をクリック

1. F3:F10 を選択

(05) [日本語入力]を「無効」にすると、半角英数字・記号は入力できますが、入力モードの変更ができない状態になります。設定してOK しましょう。



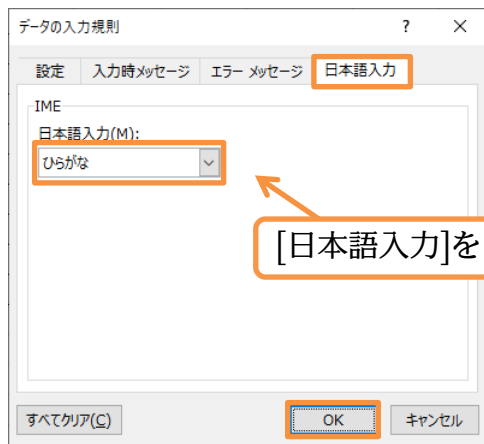
(06) F8 に「40」と入力してみましょう。その際、[入力モード]が変更できない状態になっていることを確認してください(ボタンが非表示に)。



(07) H 列の[メモ]欄をアクティブにしている際は、自動的に「ひらがな」モードになるよう設定します。選択して[データの入力規則]をクリックしてください。

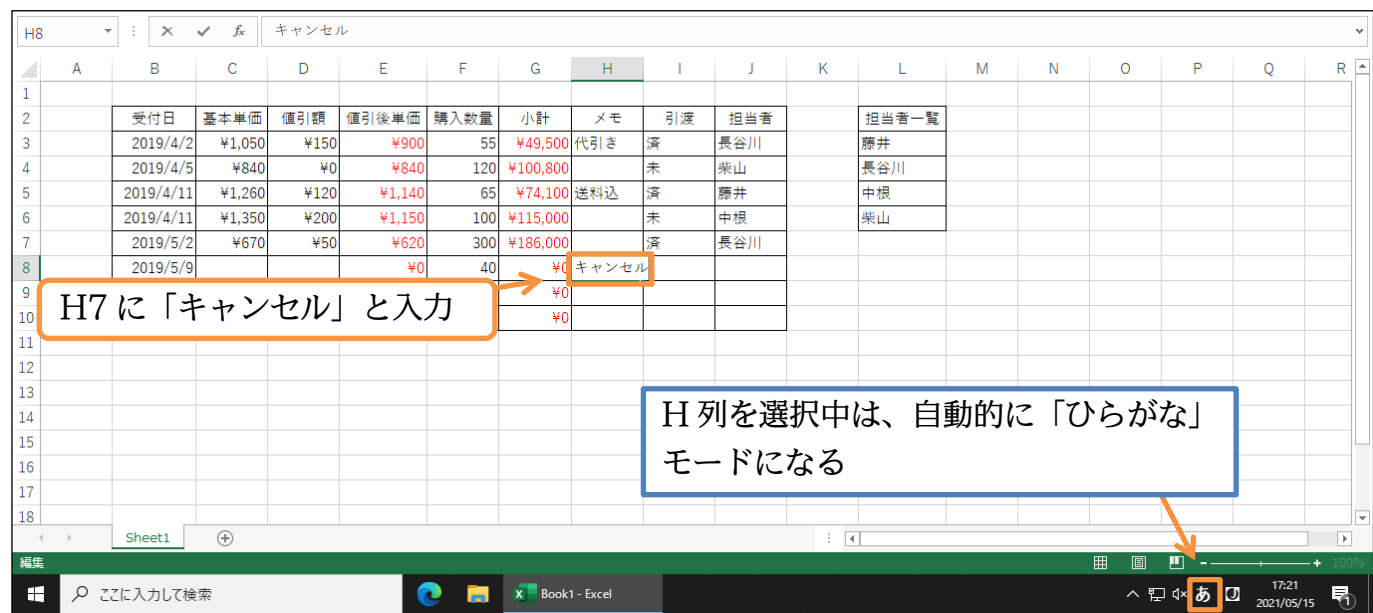


(08) [日本語入力]を「ひらがな」にすると、アクティブにした際は自動的に[ひらがな]モードになります。設定してOKしましょう。



[日本語入力]を「ひらがな」に

(09) それではセル H7 に「キャンセル」と入力してみましょう。「半角英数」モードになっていても、H列をアクティブにすると自動的に「ひらがな」モードになります。



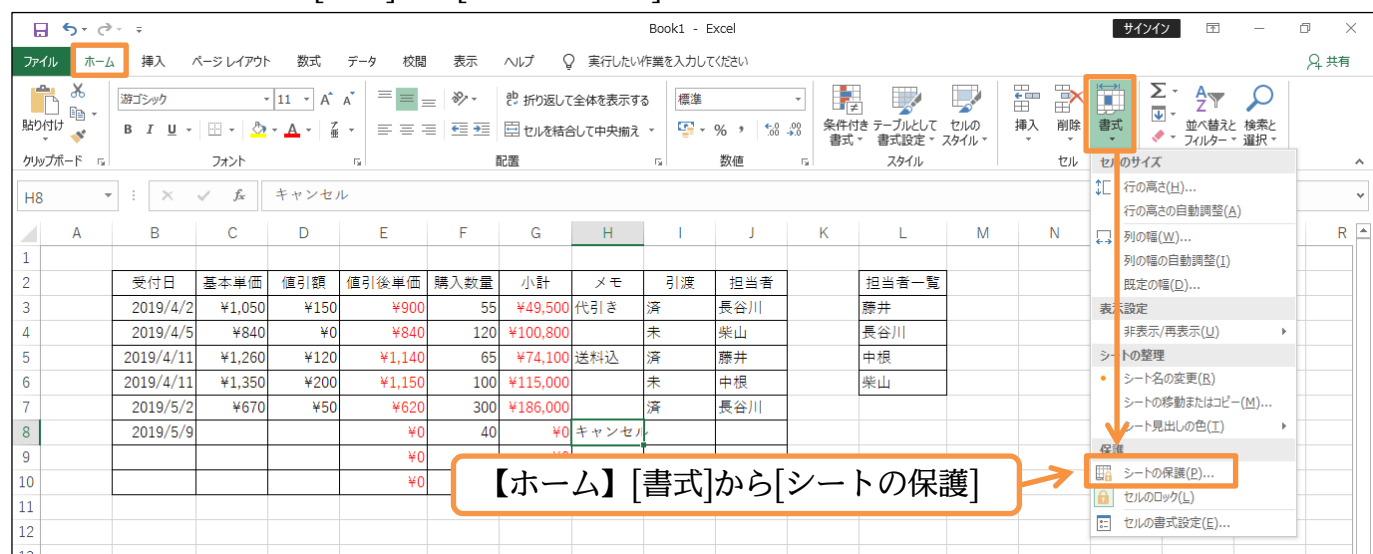
H7に「キャンセル」と入力

H列を選択中は、自動的に「ひらがな」モードになる

02章11節…シートの保護

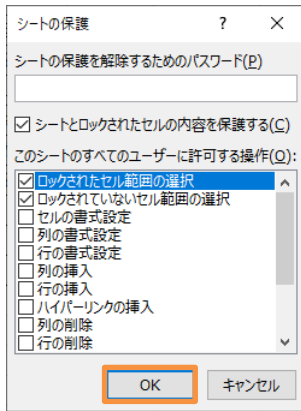
(01) このワークシートを操作できないように保護します。

【ホーム】タブの[書式]から[シートの保護]を設定します。



【ホーム】[書式]から[シートの保護]

(02) 解除パスワードは設定せずに OK します。



解除パスワードを設定してもよい。
設定するならば 2 回入力する必要がある。

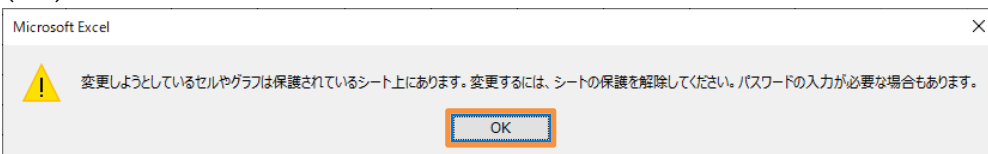
(03) 保護したワークシートには入力できません。

B9 をアクティブにして何かキーを入力してみましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧	
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山	
7		2019/5/2	¥670	¥50									
8		2019/5/9											
9					¥0		¥0						
10					¥0		¥0						

B9 で何か入力するが...

(04) このワークシートは保護されているので入力が許可されません。OK します。



(05) 次へ進む前にシートの保護を解除しましょう。

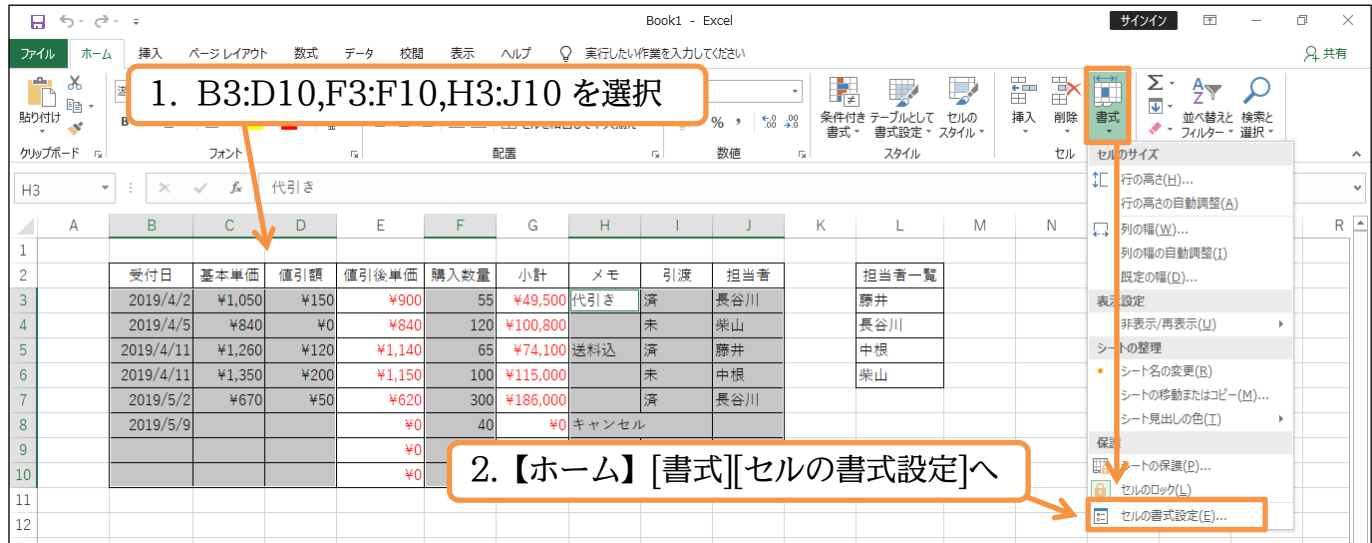
パスワードを設定していると、保護の解除時にその入力が求められる

[書式][シートの保護の解除]

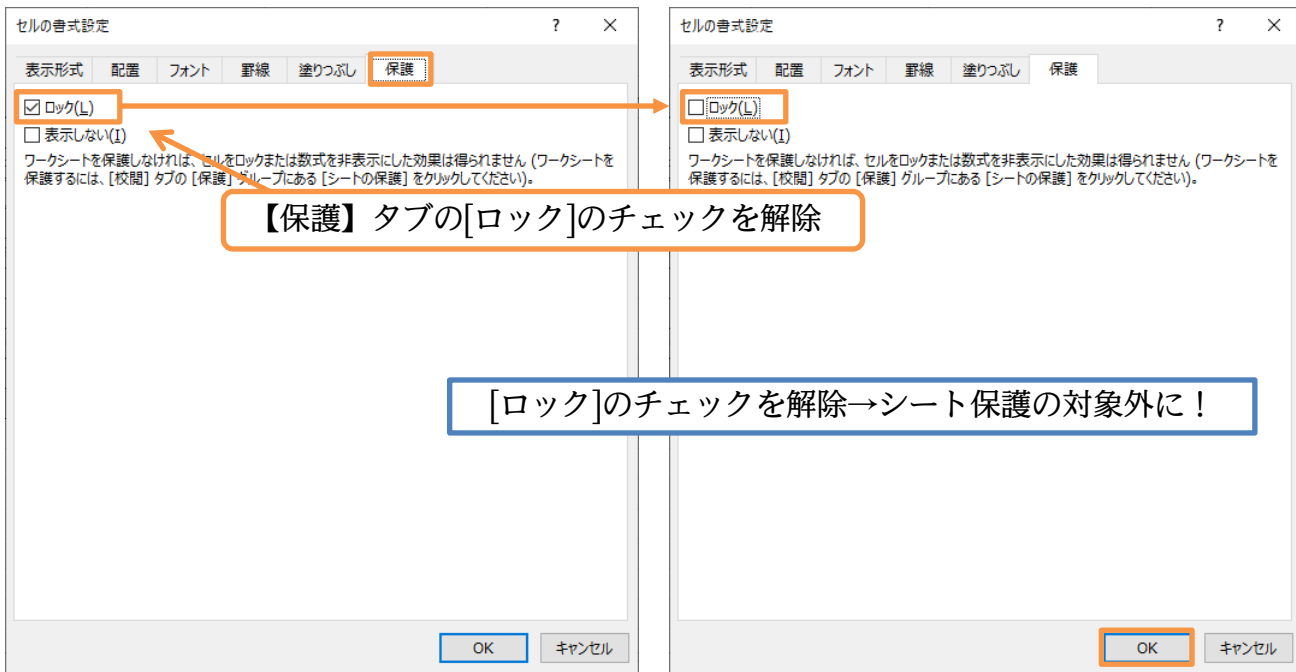
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1														
2		受付日	基本単価	値引額	値引後単価	購入数量	小計	メモ	引渡	担当者		担当者一覧		
3		2019/4/2	¥1,050	¥150	¥900	55	¥49,500	代引き	済	長谷川		藤井		
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		未	柴山		長谷川		
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	済	藤井		中根		
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	中根		柴山		
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000		済	長谷川				
8		2019/5/9												
9					¥0		¥0							
10					¥0		¥0							
11														
12														

02章12節…シート保護の例外セルを作成する・[ロック]をオフに

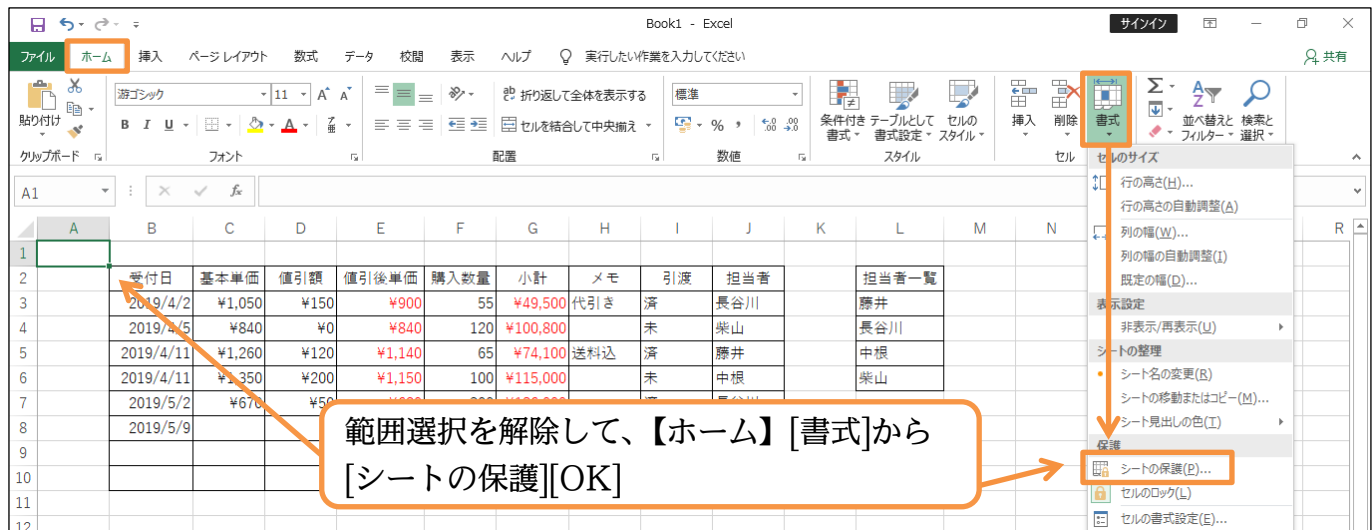
(01) 再度このシートを保護します。ただしB3:D10,F3:F10,H3:J10は保護の対象外とします。保護対象外とするセルの登録は【ホーム】[書式][セルの書式設定]でおこないます。



(02) 【保護】タブにします。通常はすべてのセルにおいて[ロック]のチェックが付いた状態になっています。このチェックを解除すると、そのセルはシート保護の対象外になります。



(03) それでは範囲選択を解除してから、再度シートの保護をしてください(次のパスワード欄は空欄のまま OK)。



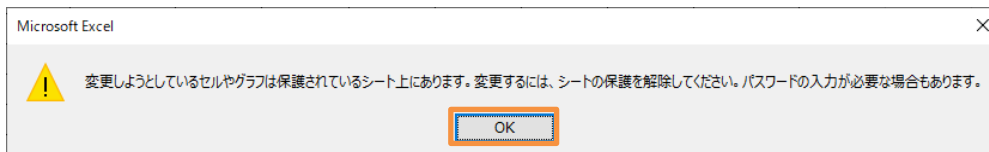
(04) C8:D8 に「540,60」と入力します。ここはシート保護の対象外なので入力可能です。次に E8 に何か入力してみましょう。ここは保護されています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2													
3									引渡	担当者		担当者一覧	
4		2019/4/5	¥840	¥0	¥840	120	¥100,800		済	長谷川		藤井	
5		2019/4/11	¥1,260	¥120	¥1,140	65	¥74,100	送料込	未	柴山		長谷川	
6		2019/4/11	¥1,350	¥200	¥1,150	100	¥115,000		未	藤井		中根	
7		2019/5/2	¥670	¥50	¥620	300	¥186,000			中根		柴山	
8		2019/5/9	¥540	¥60	¥480	40	¥192,000						
9													
10													
11													

(05) セル E8 は保護されているので入力が許可されません。

OK します。[シートの保護]を使って、特定の個所以外を保護できるのです。

それではこの章の学習を終了します。完成後はこのファイルを閉じます(必要に応じて保存)。



02章13節…まとめ

- ◆ セルに入力可能とする値を制限する機能が「入力規則」です。
- ◆ 入力規則を使用する際には、入力可能な最小値・最大値を指定します。
- ◆ 入力可能な値を、選択肢から選べるようにすることもできます。
- ◆ 入力規則のスタイルには「停止」「注意」「情報」があります。「停止」以外を選ぶと、規則に違反する値の入力も可能になります。
- ◆ 入力規則を使って、自動的に入力モードを変更させる設定ができます。
- ◆ シートは操作されないよう保護できます。シート保護の対象外のセルも作成可能です。

02章14節…練習問題

(01) 左のような表を作成しましょう。続けてセル C3:C14 に「男」「女」だけをリスト形式で入力できるように設定しましょう。設定後は右の表のように入力します。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地	
3		高野					
4		山本					
5		佐田					
6		熊谷					
7		日野					
8		大橋					
9		黒田					
10		青山					
11		柴本					
12							
13							
14							
15							

→→→

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地	
3		高野	男				
4		山本	女				
5		佐田	女				
6		熊谷	男				
7		日野	男				
8		大橋	女				
9		黒田	女				
10		青山	男				
11		柴本	女				
12							
13							

{Alt}+{↓}キーでアクティブセルのリストを展開できる

(02) セル D3:D14 に、「6-12」の整数だけ入力できるように設定します。

設定後は以下のように入力しましょう。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地	
3		高野	男	7			
4		山本	女	9			
5		佐田	女	8			
6		熊谷	男	12			
7		日野	男	6			
8		大橋	女	7			
9		黒田	女	8			
10		青山	男	11			
11		柴本	女	8			
12							
13							
14							
15							

(03) セル E3:E14 には「12:00」より前の[時刻]のみ入力できるように設定します。

および、アクティブ時には日本語入力システムが「無効」になるよう設定します。

設定後は以下のように入力しましょう。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地	
3		高野	男	7	8:15		
4		山本	女	9	8:30		
5		佐田	女	8	9:10		
6		熊谷	男	12	9:10		
7		日野	男	6	10:50		
8		大橋	女	7	11:00		
9		黒田	女	8	11:20		
10		青山	男	11	11:20		
11		柴本	女	8	11:30		
12							
13							
14							
15							

(04) セル H2:H6 に以下のようなリストを作成します。また F3:F14 には H3:H6 のデータを選択肢にもつドロップダウンリストで入力できるように設定してください。

設定後は以下のように入力しましょう。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		参加者氏名	性別	年齢	出発時刻	目的地		目的地一覧	
3		高野	男	7	8:15	藤波パーク		第一臨海公園	
4		山本	女	9	8:30	池中公園		池中公園	
5		佐田	女	8	9:10	第一臨海公園		藤波パーク	
6		熊谷	男	12	9:10	中央森林公園		中央森林公園	
7		日野	男	6	10:50	第一臨海公園			
8		大橋	女	7	11:00	池中公園			
9		黒田	女	8	11:20	中央森林公園			
10		青山	男	11	11:20	中央森林公園			
11		柴本	女	8	11:30	池中公園			
12									
13									
14									
15									

{Alt}+{↓}キーでアクティブセルのリストを展開できる

02章15節…練習問題

(01) 以下のように、割引チケットの利用管理表を作成しましょう。E列の「合計」には「コース金額」×「人数」の計算式を入力しておきます。この表はある料理店で使われた割引チケットの管理表です。G列の「お支払額」は「合計－割引額」とします。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2020/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4					¥0		¥0	
5					¥0		¥0	
6					¥0		¥0	
7					¥0		¥0	
8					¥0		¥0	
9					¥0		¥0	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15					¥0		¥0	

(02) セル B3:B14 には「2020/7/1」から「2020/7/31」の[日付]のみ入力できるように設定しましょう。日本語入力システムは「無効」にします。設定後は以下のように入力しましょう。また入力規則に違反したデータが入力できないかをテストしてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2020/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4		2020/7/2			¥0		¥0	
5		2020/7/6			¥0		¥0	
6		2020/7/8			¥0		¥0	
7		2020/7/11			¥0		¥0	
8		2020/7/11			¥0		¥0	
9		2020/7/12			¥0		¥0	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15					¥0		¥0	

(03) セル C3:C14 には「2800」か「3500」のみをドロップダウンリスト形式で入力できるように設定しましょう。また入力時メッセージ「{Alt}キー+{↓}キーで選択」を設定します。設定後は以下のように入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2020/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4		2020/7/2	¥3,500		¥0		¥0	
5		2020/7/6	¥2,800		¥0		¥0	
6		2020/7/8	¥3,500		¥0		¥0	
7		2020/7/11	¥3,500		¥0		¥0	
8		2020/7/11	¥2,800		¥0		¥0	
9		2020/7/12	¥2,800		¥0		¥0	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15					¥0		¥0	

(04) 割引チケットは、原則として売上が「13000」円以上の場合のみ利用できます。セルD3:D14には、[合計]欄(E列)が「13000」より小さくなるような値(人数)を入力できないよう設定してください。スタイルは「注意」とし、エラー時にはメッセージ「チケット利用対象外です」が表示されるようにします。日本語入力システムは「無効」にします。設定後は以下のように人数を入力してください。D8は例外的な入力値です。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額	
3		2020/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800	
4		2020/7/2	¥3,500	5	¥17,500		¥17,500	
5		2020/7/6	¥2,800	5	¥14,000		¥14,000	
6		2020/7/8	¥3,500	4	¥14,000		¥14,000	
7		2020/7/11	¥3,500	8	¥28,000		¥28,000	
8		2020/7/11	¥2,800	4	¥11,200		¥11,200	
9		2020/7/12	¥2,800	7	¥19,600		¥19,600	
10					¥0		¥0	
11					¥0		¥0	
12					¥0		¥0	
13					¥0		¥0	
14					¥0		¥0	
15								

(05) I2:I6に以下のようなリストを追加してください。またF3:F14には、I3:I6の値のみリスト形式で入力できるように設定してください。設定後は以下のように入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額		チケット価格	
3		2020/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800		¥500	
4		2020/7/2	¥3,500	5	¥17,500	¥3,000	¥14,500		¥1,000	
5		2020/7/6	¥2,800	5	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥2,000	
6		2020/7/8	¥3,500	4	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥3,000	
7		2020/7/11	¥3,500	8	¥28,000	¥500	¥27,500			
8		2020/7/11	¥2,800	4	¥11,200	¥2,000	¥9,200			
9		2020/7/12	¥2,800	7	¥19,600	¥3,000	¥16,600			
10					¥0		¥0			
11					¥0		¥0			
12					¥0		¥0			
13					¥0		¥0			
14					¥0		¥0			
15										

(06) このワークシートは以下の赤枠内を除いて保護します。
保護後は2件分のレコードを追加してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2		チケット利用日	コース金額	人数	合計	割引額	お支払額		チケット価格	
3		2020/7/2	¥2,800	6	¥16,800	¥1,000	¥15,800		¥500	
4		2020/7/2	¥3,500	5	¥17,500	¥3,000	¥14,500		¥1,000	
5		2020/7/6	¥2,800	5	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥2,000	
6		2020/7/8	¥3,500	4	¥14,000	¥1,000	¥13,000		¥3,000	
7		2020/7/11	¥3,500	8	¥28,000	¥500	¥27,500			
8		2020/7/11	¥2,800	4	¥11,200	¥2,000	¥9,200			
9		2020/7/12	¥2,800	7	¥19,600	¥3,000	¥16,600			
10		2020/7/15	¥3,500	5	¥17,500	¥2,000	¥15,500			
11		2020/7/18	¥2,800	8	¥22,400	¥3,000	¥19,400			
12					¥0		¥0			
13					¥0		¥0			
14					¥0		¥0			
15										

第03章:複雑な条件付き書式とユーザー定義の表示形式

03章01節…復習：基本的な条件付き書式

(01) 以下のような表を作成しましょう。H列は計算部です。

G列の値からF列の値を引いています。F～H列は「通貨表示形式」にします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位	
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000	
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000			
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000			
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000			
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000			
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0			
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000			
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000			
11											

(02) [性別]欄に条件付き書式を設定します。

「男」の場合はフォントの色が「青」になるようにします(復習)。

1. セル D3:D10 を選択

2. [条件付き書式][新しいルール]

(03) [指定の値を含むセルだけを書式設定]を用い、[セルの値]「次の値に等しい」「男」を指定します。指定後は[書式]をクリックします。

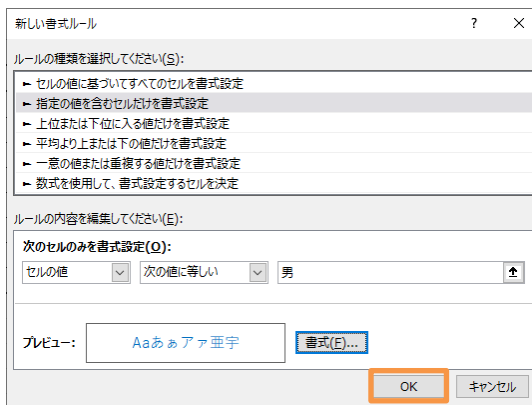
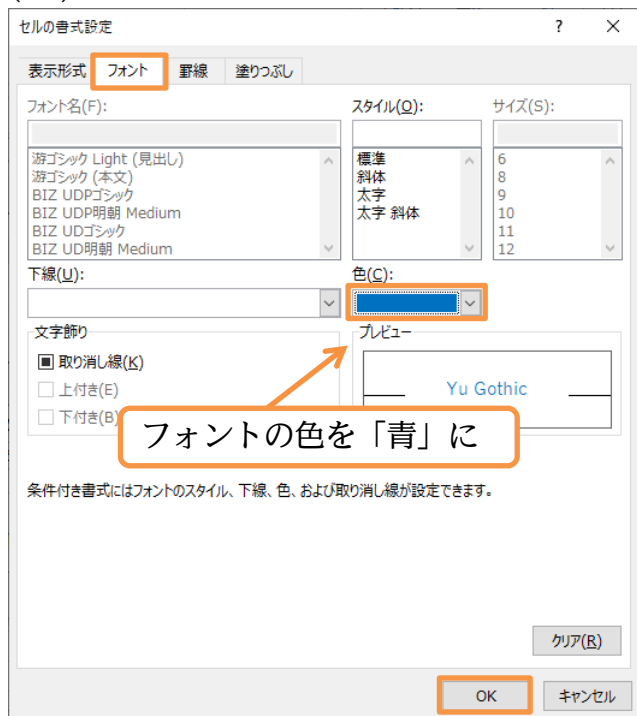
1. [指定の値を含むセルだけを書式設定]を選択

2. 条件欄に[セルの値]「次の値に等しい」「男」を指定

3. [書式]

「男を含む」のように「次の値を含む」を使う場合には[セルの値]ではなく[特定の文字列]を使う

(04) フォントの色を「青」にしてOK・OKします。



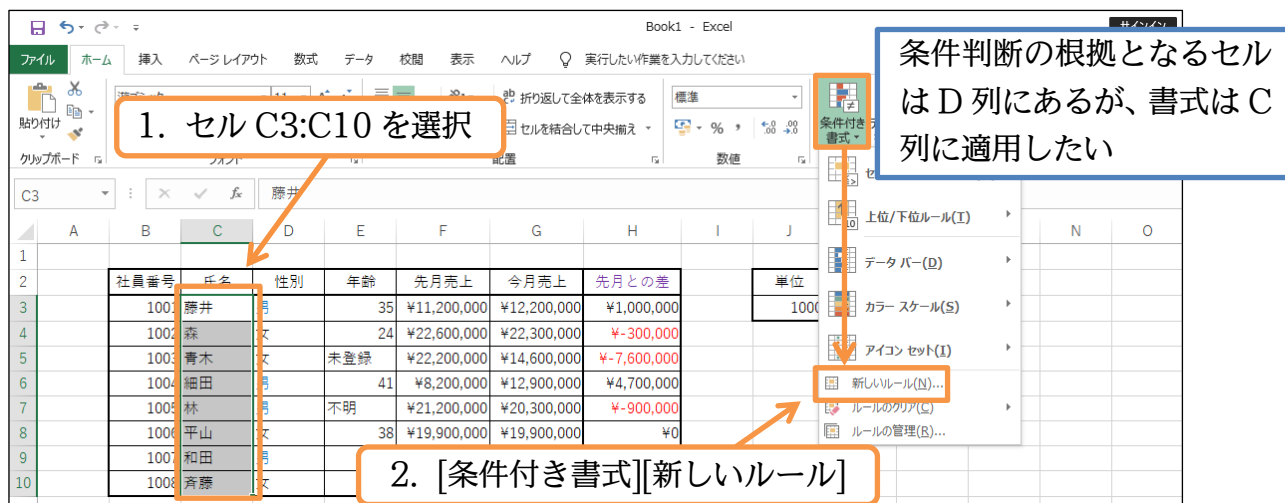
(05) 性別が「男」の場合、「D列」の[性別]欄に色が付きました。

次の項では性別が「男」の場合、左にある「C列」の[氏名]欄に色を付ける予定です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000					
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000							
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000							
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000							
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000							
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000							
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000							

03章02節…条件判断の根拠となるセルと書式設定をするセルが異なる[数式を使用して]

(01) 再び「男」の場合に文字色が付くよう設定します。ただし色を付ける欄はC列の氏名欄です。文字色を設定したいC列を選択して条件付き書式を使います。



(02) 書式設定をするセルと、条件判断の根拠となるセルが異なる際は「数式を使用して、書式設定するセルを決定」を使います。そしてルール欄に、選択個所の先頭セル(C3)はどんな条件の時に書式設定がオンになるのかを指定します。「D3="男"」と指定します。

	A	B	C	D	E	F
1						
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上
3		1001	藤井	男	35	¥11,200.0
4		1002	森	女	24	¥22,600.0
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200.0
6		1004	細田	男	41	+0,200.0
7		1005	林	男	不明	¥21,200.0
8		1006	平山	女	38	¥19,900.0
9		1007	和田	男	22	¥11,600.0
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700.0

新しい書式ルール

1. 「数式を使用して、書式設定するセルを決定」

2. ルール欄に「D3="男"」と指定

絶対参照の処理は次で

(03) 「D3」を指定すると自動的に絶対参照マークが設定されます。書式を設定するセルは「C3,C4,C5,...(藤井,森,青木)」となっています。条件セルは「D3,D4,D5...(男,女,女)」と変わります。絶対参照のままではすべてのセルで「D3」が条件判断の根拠セルに採用されてしまいます。条件判断用のセルの行番号が「3→10」と変化するように絶対参照マークを調整しましょう。設定後は[書式]をクリックします。

新しい書式ルール

1. 「\$D\$3」を「D3」に

2. [書式]をクリック

(04) 今回はフォントの色を「緑」にしてOK・OKします。

セルの書式設定

表示形式 フォント 罫線 塗りつぶし

フォント名(F): 標準 斜体 太字 太字 斜体

スタイル(O): 標準 斜体 太字 太字 斜体

サイズ(S): 6 8 9 10 11 12

下線(U):

色(C):

文字飾り

取り消し線(K)

上付き(E)

下付き(B)

条件付き書式にはフォントのスタイル、下線、色、および取り消し線が設定できます。

クア(R)

OK キャンセル

新しい書式ルール

ルールの種類を選択してください(S):

セルの値に基づいてすべてのセルを書式設定

指定の値を含むセルだけを書式設定

上位または下位に入るセルだけを書式設定

平均より上または下のセルだけを書式設定

一意の値または重複するセルだけを書式設定

数式を使用して、書式設定するセルを決定

ルールの内容を編集してください(E):

次の数式を満たす場合に値を書式設定(O):

=D3="男"

プレビュー: Aaあぁアァ亜宇

書式(E)...

OK キャンセル

フォントの色を「緑」に

(05) 書式を設定するセルと条件判断の根拠になる値が入力されているセルとが異なる場合には、「数式を使用して、…」のルールを採用するのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2			社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位				
3			1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000				
4			1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000						
5			1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000						
6			1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000						
7			1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000						
8			1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0						
9			1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000						
10			1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000						

C列に書式を設定した!

(06) 練習です。今度は[年齢]が「30以下」の場合、レコード(行)全体が黄色で塗りつぶされるよう設定します。全レコードを選択して条件付き書式の設定をします。

1. セル B3:H10 を選択

2. [条件付き書式][新しいルール]

(07) 先頭セルの B3 を基準に考えます。「E3<=30」という論理式をルールに設定します。

1. 「数式を使用して、書式設定するセルを決定」

2. ルール欄に「E3<=30」と指定

(08) 各行の E 列の値を使って書式を設定するかどうかの判断をします。

絶対参照の設定を「\$E\$3」から「\$E3」へと変更してから書式の設定をします。

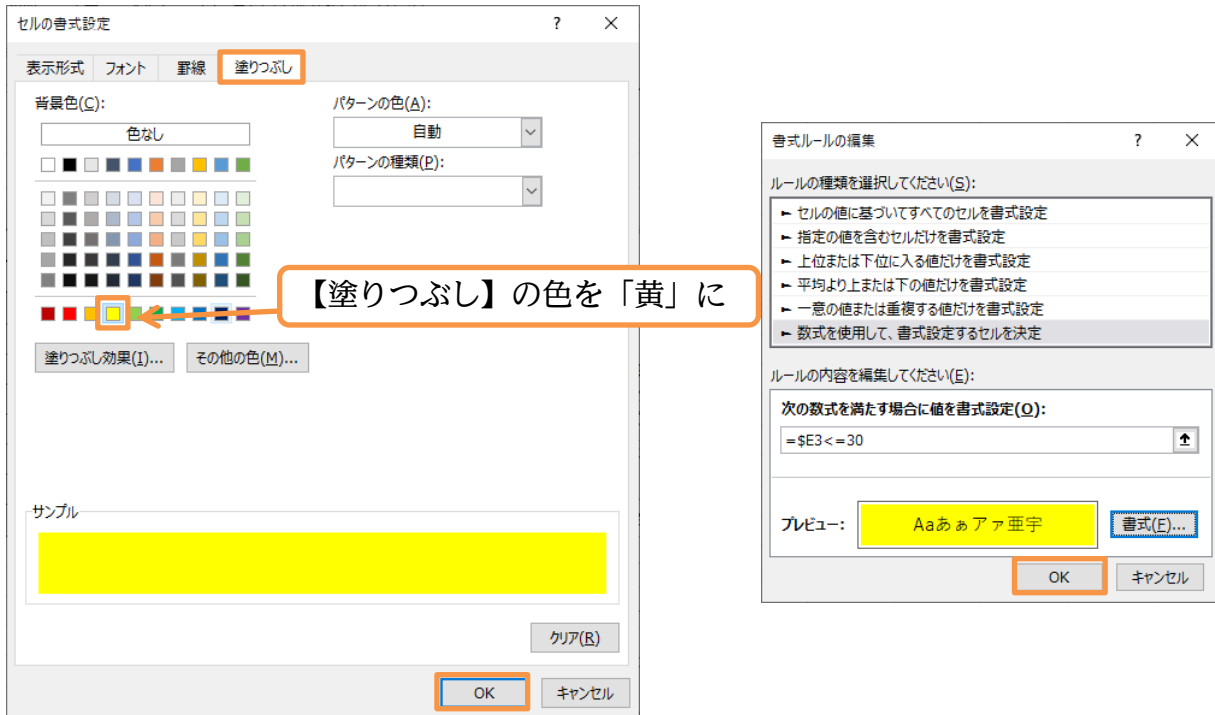
1. 「\$E\$3」を「\$E3」に

2. [書式]をクリック

各行の E 列の数値が 30 以下になっているかを調査させる

「\$E\$3」では絶対参照が過剰である。参照するのは 3 行目とは限らないからだ。したがって「3」の前の絶対参照キーを解除して「\$E3」とする。

(09) 【塗りつぶし】の色を「黄」にしてOK・OKします。



(10) [書式設定をしたいセル]と[条件判断の根拠になるセル]が異なる場合における条件付き書式の設定方法について学習しました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥1,000,000		1000					
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000							
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000							
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥4,700,000							
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000							
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000							
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥5,400,000							
11															

行単位で書式を設定したいケースにてよく使われているテクニックだ

03章03節…正の場合と負の場合の表示形式を分ける

(01) H 列の表示形式において、プラス(正)の場合には「¥+〇,〇〇〇」と表示されるよう設定します。正の場合と負の場合とで別々の表示形式にするのです。選択してユーザー定義の表示形式を設定します。

2. 表示形式を設定({Ctrl}+[1]も可)

1. H3:H10 を選択

マイナス(負)の場合には「-」記号が付くよう最初から設定されている。プラス(正)の場合には「+」記号が付く設定をここでする予定。

(02) 表示形式を「ユーザー定義」にします。表示形式は「正の場合;負の場合」で分けることができます。間に半角の「;」(セミコロン)を使います。[赤]は「赤字にする」の意味です。「¥#,##0;[赤]¥-#,##0」を「¥+#,##0;[赤]¥-#,##0」にしてOKします。

2. ユーザー定義の表示形式を「¥#,##0;[赤]¥-#,##0」から「¥+#,##0;[赤]¥-#,##0」に

「正の場合;負の場合」で分ける。セミコロンやカッコなどの記号は必ず半角で!

1. 表示形式を「通貨→ユーザー定義」に

(03) セミコロンで区切れば、正の場合と負の場合とで別の表示形式を設定できるのです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差							
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥+1,000,000							
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000							
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000							
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥+4,700,000							
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000							
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥+0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000							
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥+5,400,000							

03章04節…ゼロの場合の表示形式

(01) ゼロの場合には「¥±0」と表示されるよう設定します。「正の場合;負の場合」のあとでさらに「;」で区切ると「ゼロの場合」が指定できるようになります。

「正の場合;負の場合;ゼロの場合」となるのです。H3:H10 に対して表示形式の設定を再度し、ゼロの場合を追加します。「±」は計算用記号ではないので「"±"」とします。

1. H3:H10 に対して再度表示形式の設定

±…プラスマイナス

2. ユーザー定義の表示形式を「¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;¥"±"0」に

「¥」マークは「"」で囲む必要がない特別な記号。ただし「半角」で入力する必要がある。

(02) セル H8 に注目します。「¥±0」となっています。

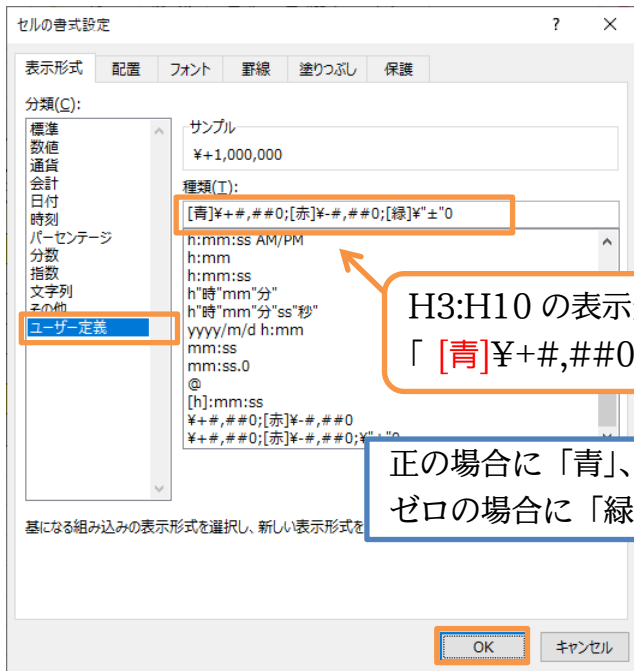
	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥+1,000,000
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥+4,700,000
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥±0
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥+5,400,000

さらに「;」で区切ると「文字列の場合」の指定ができる。
「正の場合;負の場合;ゼロの場合;文字列の場合」となる。

03章05節…表示形式と文字色の設定

(01) 場合分けブロックの先頭へ、半角の大カッコ[]で色名を囲って指定することで表示形式に文字色が設定できます。使える色名は「黒白赤緑青水紫黄」です。

H3:H10 が正の場合に「青」、ゼロの場合に「緑」になるよう設定してください。



H3:H10 の表示形式を「 [青]¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;[緑]¥"±"0 」に

正の場合に「青」、負の場合に「赤」、ゼロの場合に「緑」になるよう設定

(02) 正の場合、負の場合、ゼロの場合に別の色が付きました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差							
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥+1,000,000							
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000							
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000							
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥+4,700,000							
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000							
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥±0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000							
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥+5,400,000							

使える色は「黒白赤緑青水紫黄」

条件付き書式でも同様のことができる

03章06節…表示形式：数値の場合と文字列の場合を分けて設定する

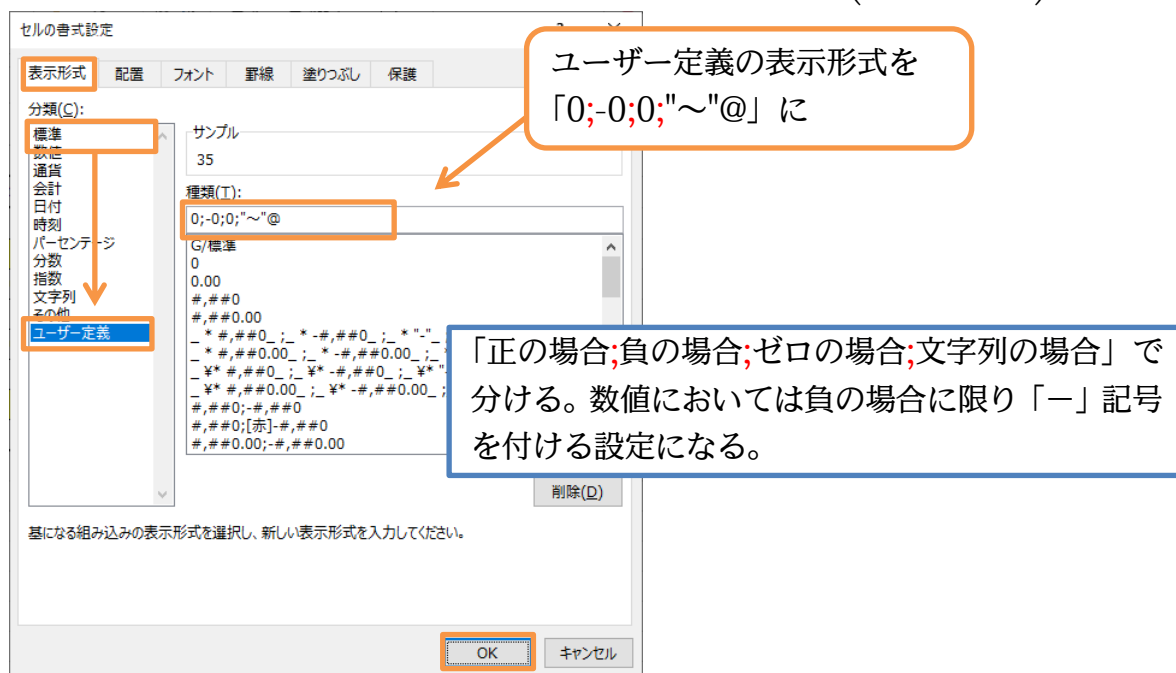
(01) E 列(年齢)においては「数値」と「文字列」とが混在しています。ここで「文字列」の場合のみに「~」記号を付与してみます。選択してユーザー定義の表示形式を設定します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差							
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥+1,000,000							
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000							
5		1003	青木	女	未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000							
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥+4,700,000							
7		1005	林	男	不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000							
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥±0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000							
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥+5,400,000							

単位
1000

E3:E10 を選択して表示形式の設定

- (02) 表示形式を「標準→ユーザー定義」とします。
 「正の場合;負の場合;ゼロの場合;文字列の場合」で分けて設定ができます。
 ここでは「0;-0;0;"~"@」と設定しましょう。
 半角の「@」は文字列の位置を指定するための記号です(「0」は数値)。



- (03) 数値の部分はそのままに、文字列の部分だけに「~」を付与しました。

E3														
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1														
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位				
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥+1,000,000		1000				
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000						
5		1003	青木	女	~未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000						
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥+4,700,000						
7		1005	林	男	~不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000						
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥±0						
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000						
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥+5,400,000						
11														
12														

03章07節…数値を 1,000 単位にして表示する【#,##0,】

- (01) F・G 列の数値を「1,000 単位」にして表示させます(0 を 3 つ分省略)。Excel では数値を「1,000 単位(0 を 3 つ分省略)・100 万単位(0 を 6 つ分省略)」にして表示させることができます。選択してユーザー定義の表示形式を設定します。

F3														
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1														
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位				
3		1001	藤井	男	35	¥11,200,000	¥12,200,000	¥+1,000,000		1000				
4		1002	森	女	24	¥22,600,000	¥22,300,000	¥-300,000						
5		1003	青木	女	~未登録	¥22,200,000	¥14,600,000	¥-7,600,000						
6		1004	細田	男	41	¥8,200,000	¥12,900,000	¥+4,700,000						
7		1005	林	男	~不明	¥21,200,000	¥20,300,000	¥-900,000						
8		1006	平山	女	38	¥19,900,000	¥19,900,000	¥±0						
9		1007	和田	男	22	¥11,600,000	¥11,300,000	¥-300,000						
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700,000	¥23,100,000	¥+5,400,000						
11														

(02) 表示形式を「通貨→ユーザー定義」とします。

桁区切りスタイルを「1,000 単位(0 を 3 つ分省略)」とするには「#,##0→#,##0,」とします。最後に半角のカンマ「,」を追加するのです。

「¥#,##0;[赤]¥-#,##0,」と設定してください。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

サンプル

¥11,200

種類(T):

¥#,##0;[赤]¥-#,##0,

「,」が1つで「1,000 単位(0 を 3 つ分省略)」に。
「,」と2つなら「100 万単位(0 を 6 つ分省略)」となる。

#,##0 →標準の桁区切りスタイル
#,##0, →1,000 単位の桁区切りスタイル
#,##0,, →100 万単位の桁区切りスタイル

OK キャンセル

(03) セルには 1000 単位で表示されるようになります。ただし格納されている値は元のままです。格納されている値は数式バーで確認できます。

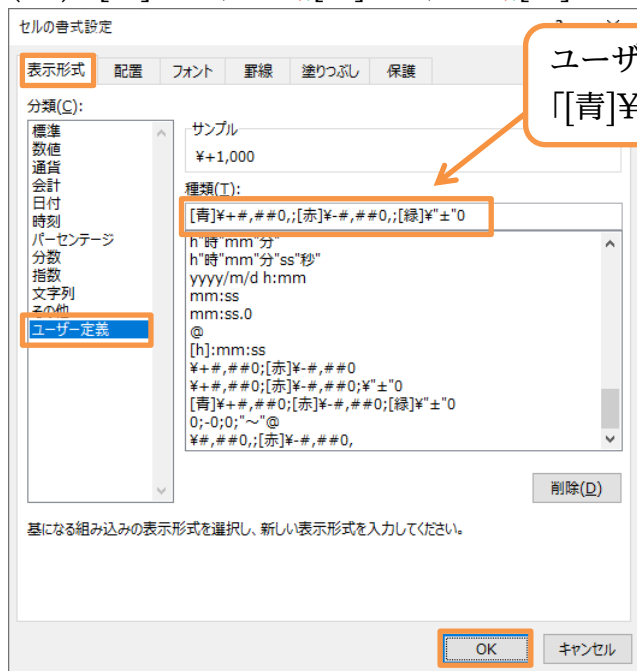
F3		11200000													
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000,000		1000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300,000							
5		1003	青木	女	~未登録	¥22,200	¥14,600	¥-7,600,000							
6		1004	畑田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700,000							
7		1005	林	男	~不明	¥21,200	¥20,300	¥-900,000							
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥=0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300,000							
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400,000							
11															

(04) H 列の計算結果も 1000 単位にしましょう。

H3 : =G3-F3

H3:H10 を選択して表示形式の設定

(05) 「[青]¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;[緑]¥±"0」と設定してください。



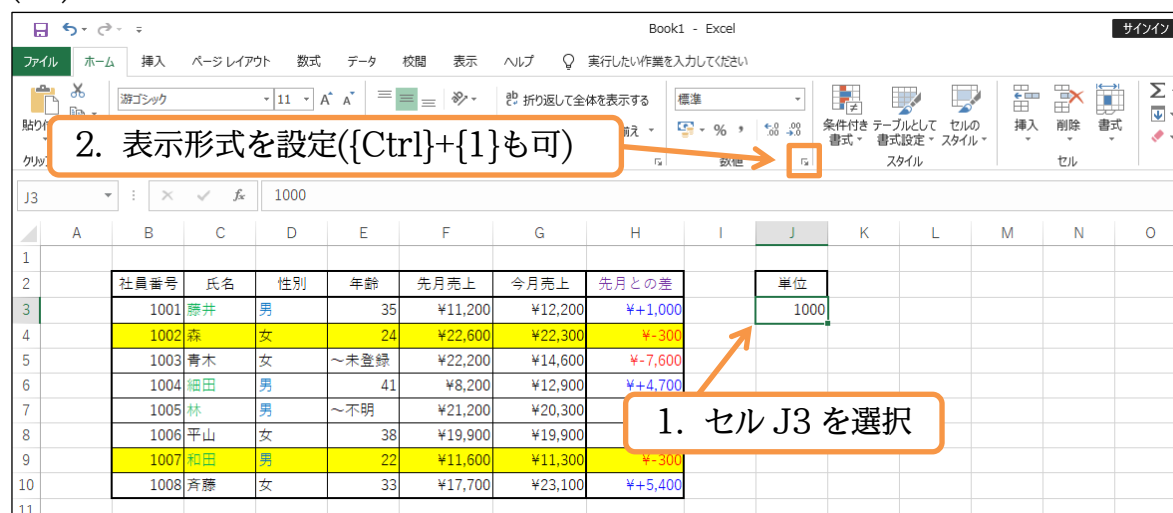
ユーザー定義の表示形式を
「[青]¥+#,##0;[赤]¥-#,##0;[緑]¥±"0」に

(06) 正の場合・負の場合ともに 1000 単位になりました。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000		1000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300							
5		1003	青木	女	~未登録	¥22,200	¥14,600	¥-7,600							
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700							
7		1005	林	男	~不明	¥21,200	¥20,300	¥-900							
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥±0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300							
10		1008	斎藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400							

03章08節…「会計」表示形式

(01) 「通貨」の類似表示形式として「会計」があります。セル J3 に対して適用してみます。



2. 表示形式を設定({Ctrl}+[1]も可)

1. セル J3 を選択

(02) 「会計」を設定しましょう。



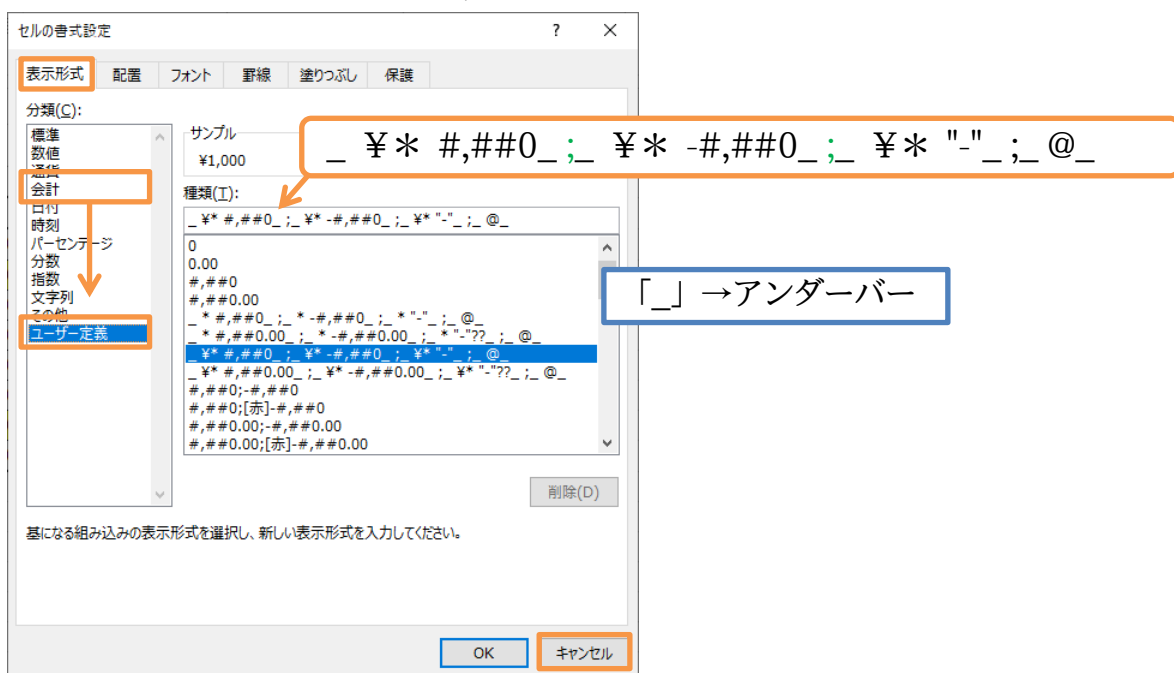
(03) 「会計」では「¥」が左側、「数値」が右側にレイアウトされます。また両端に半角スペースがセットされます。ユーザー定義の表示形式ではどのように指定するのかをチェックしましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2												
3		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位		
4		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000		¥ 1,000		
5		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300				
6		1003	青木	女	▲未登録	¥22,200	¥14,600	¥-7,600				
7		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700				
8		1005	林	男	▲不明	¥21,200	¥20,300					
9		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900					
10		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300				
11		1008	斉藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400				

セル J3 で表示形式の再確認

(04) 表示形式を「会計→ユーザー定義」として[種類]をチェックしましょう。

「会計」では「¥」と「数値」との間に「*+半角スペース」がセットされています。この記号を入れるとその左右のデータが端に揃うようにしてスペースが配置されます。また端に「_+半角スペース」がセットされています。これは半角スペース 1 文字分を配置する記号です。確認後はキャンセルしましょう。



(05) F・G列の「通貨」表示を「会計」と同様の表示に変更します。

選択してユーザー定義の表示形式を設定しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1															
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位					
3		1001	藤井	男	35	¥11,200	¥12,200	¥+1,000		¥ 1,000					
4		1002	森	女	24	¥22,600	¥22,300	¥-300							
5		1003	青木	女	~未登録	¥22,200	¥14,600	¥-7,600							
6		1004	細田	男	41	¥8,200	¥12,900	¥+4,700							
7		1005	林	男	~不明	¥21,200	¥20,300	¥-900							
8		1006	平山	女	38	¥19,900	¥19,900	¥±0							
9		1007	和田	男	22	¥11,600	¥11,300	¥-300							
10		1008	斉藤	女	33	¥17,700	¥23,100	¥+5,400							
11															

F3:G10 を選択して表示形式の設定

(06) 一旦、[会計]の表示形式にしてOKしましょう。

セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

- 標準
- 数値
- 通貨
- 会計**
- 日付
- 時刻
- パーセンテージ
- 分数
- 指数
- 文字列
- その他
- ユーザー定義

サンプル
¥11,200,000

小数点以下の桁数(D): 0

記号(S): ¥

[会計]に

[会計]は、通貨記号と小数点位置を揃えます。

OK キャンセル

(07) 次に1000単位にします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2		社員番号	氏名	性別	年齢	先月売上	今月売上	先月との差		単位			
3		1001	藤井	男	35	¥ 11,200,000	¥ 12,200,000	¥+1,000		¥ 1,000			
4		1002	森	女	24	¥ 22,600,000	¥ 22,300,000	¥-300					
5		1003	青木	女	~未登録	¥ 22,200,000	¥ 14,600,000	¥-7,600					
6		1004	細田	男	41	¥ 8,200,000	¥ 12,900,000	¥+4,700					
7		1005	林	男	~不明	¥ 21,200,000	¥ 20,300,000	¥-900					
8		1006	平山	女	38	¥ 19,900,000	¥ 19,900,000	¥±0					
9		1007	和田	男	22	¥ 11,600,000	¥ 11,300,000	¥-300					
10		1008	斉藤	女	33	¥ 17,700,000	¥ 23,100,000	¥+5,400					
11													

F3:G10 を選択して表示形式の設定